

●三位一体後第一主日

泉のほとり

今日の詩篇「第二編」

畏れ敬って、主に仕え

おののきつつ、喜び舞え



苦難から希望が

幼稚園に入園した子供たちが最初に取り組む課題は「みんなと仲良くすること」です。家族との生活しか知らない子供が、集団生活の中で他の子供と仲良く過ごすのはかなり難しいことです。自分のことばかり言っていたのではだめですが、でも自分から話しかけることも必要です。… 確に遊ぼう」とか「仲良くしよう」と言葉をかけてあげば、平和な関係で過ごせます。

でも大きくなるにつれて、わかっていても、それを言うことが難しくなります。大人はなかなか言わないでしょう。だから時々、平和に過ごせないことがあります。

その難しい言葉を、神さまがわたしたちに言うてくださいました。主イエスの十字架は、そのしるしです。これまでのあなたがたの罪を全て赦します。わたしと和解して、平和な関係の中で生きて欲しい。これが主イエスを通して神さまがわたしたちに話っておられることです。わたしたちが感謝してこの申し出を受け入れた時に、神さまとの間に平和が生まれるのです。

さらに聖霊が来てくださって、わたしたちの心を支配し、神さまの愛をわたしたちの心に満たしてくださいます。そうするとわたしたちが経験する苦しみをさえも、希望を生み出すものになるのです。

わたしたちは誰も、苦しみに遭いたいと思いま

せん。できれば遭わずにいたいと思います。でも迷惑なことに、苦しみは向こうからやって来ます。

でも聖霊がわたしたちの心に注ぎ込んでくださる神さまの愛が、それに耐える力を与えてくださいます。そして次には練達をして、苦しみが来ても驚かなくなりませす。そして最後には、苦しみの中にもよいものがあることがわかって、希望を見いだせるようになります。

「太った人がやせた人に福音が語れるか」という文章を読んだことがあります。貧しい東南アジアの、飢えてやせた人に向かって、栄養十分の宣教師が「人はパンだけで生きるものではない」という説教をするのはいかにも変だということです。やせたアジアの人が太ったヨーロッパの人に同じことを言ったら、もつと言葉の意味が深くなるだろう、というのです。

言葉には、それを語るのにふさわしい人がいます。子供の問題で苦勞している人を励ます言葉は、同じ苦勞を味わった人が語るのがふさわしいでしょう。家族を失って悲しむ人に語りかけるのは、同じ悲しみを味わった人がいいでしょう。苦勞や悲しみには、できれば遭いたくありませんが、でもそれが用いられて人を助けることがあります。そこでは、わたしたちの味わう苦しみが、新しい意味を持つています。

祈り

○主イエス・キリストの父なる御神、あなたは御子を地上に遣わしてくださいました。そして、御子が地上で伝道に、愛の奉仕にひたすら生きておられる間、人々の祈りに耳を傾け続けられました。わたし共はその主イエスにならない、主イエスに支えられて、いつものように礼拝をするためにここに集まって参りました。兄弟姉妹たちと共に讃美を歌い、祈りに集中することすべてをかける思いで集められた者であります。この志をあなたが与えてくださり、それを実現しうるだけの信仰の心と肉体の力を与えてくださいましたことを、心から感謝いたします。あなたが与えてくださったかけがえのないこの礼拝の時を、心を込めて、わたし共の存在のすべてをあなたに向ける思いで過ごすことができますように。

しかし、この特権を与えられているとき、このように礼拝を繰り返してきた仲間の中で、すでにこの地上の生活を終えた者があり、今、病床にある者もいることを思わざるを得ません。痛みをもって覚えなければならぬ人々が幾人もおられます。そのために不安を抱きながら疲れに耐えている家族がいます。その誰一人をも、真実に助けることのできないわたし共です。今、祈りをもって、これらの人々のために、あなたの助けをひたすら

願うことができますように。

歩みを定めかねて遠方に暮れている全国の教会が、そのような中にありましても、どうぞあなたの涙を見失うことがありませんように、あなたの御心を行ってください。この世界の至る所で、人の目には見えなくても、あなたの限差しのあるところ、あなたに仕え、隣人を支えている多くの人々がいます。まだ信仰を言い表さなくても、あなたの御心を実現するために用いられている多くの人々がいます。御心ならば、どうぞそれらの人々にみ言葉を聞かせ、力を与えてください。

若い人が新しい学舎を与えられ、希望に胸を膨らませています。その傍らにもあなたがいてくださいますように。家族に対する小さなわざにおいても、職場における変わらざる務めにおいても、御心を表すことができるようにしてください。そして、それに足る力と御言葉が与えられているとの確信を持つことができますように。

御言葉を聞かせてください。御霊を注いでください。礼拝を献げることの尊さと共に喜びを知ることができますように。ここで得た喜びを日常の生活の中に持ち帰っていくことができますように。

主イエス・キリストの御名によって、感謝し、祈り願います。アーメン

(加藤常昭「み前にそそぐ祈り」より)

今日のお知らせ

○第一礼拝後、教会学校と並行してロビーでのコーヒーサービスと、園舎二階リズム室では、「ぶどうの会」が開かれます。どうぞご参加ください。

○同じく第一礼拝後、幼稚園舎一階のコスモス（礼拝堂に一番近い部屋）で紫園香音楽伝道師の指導による賛美と祈りの会が開かれます。どうぞご参加ください。

○第二礼拝後、ホールで、讃美と報告の会をします。お昼はお弁当です。

○午後二時からカナルルームで定例の役員会を行います。役員はお集まりください。

○明日一九日（月）朝一〇時半から午後四時まで、東京説教塾の例会がホールで行われます。

○紫園香音楽伝道師は、一九日（月）一四時から、「故郷の家・東京」のコンサートで奉仕をします。どうぞお祈りください。

○古村教師は二二日（木）一〇時半から青山学院大学の礼拝で、また二三日（金）のお昼には明治学院大学横浜校舎の礼拝で奉仕します。

○次週二五日午後二時から、ホームカミングデイが行われます。品川教会で結婚した人の同窓会です。

ケニアだより

7月9日、15日に、
コイノニアはミュージカル



「ピースチャイルド」の5回目の公演を行います。小学校4年生から中学生までの生徒たちが舞台に立ちます。

この時期にピースチャイルドを行う理由は、8月に総選挙があるからです。10年前の選挙後には、部族同士が傷つけない、殺し合う悲惨な事態が起こりました。5年前の選挙では大きな事件には至りませんでした。今回の選挙に向けて、人々は多くの不安を抱えています。この時こそ、本当の平和のメッセージを伝えることが使命と考え、準備をします。

川を隔てて定住する2つの部族が、長い間、憎み合い、いがみ合ってきました。部会から来たテレビの取材班が2つの部族を取材するために川に橋を架ける計画を始めました。橋ができたら戦いが始まる。何とかして血を流すことだけは避けたいと思う一方の酋長に、夢で「自分の子どもを敵に差し出すことで平和が生まれる」と告げられます。

生まれたばかりの子どもを、敵の子供に恵まれない酋長に差し出すことで、2つの部族が1つの家族になり、平和がもたらされるといふストーリーです。

これまででは、平和の君として来てくださったイエス様を指し示すために、クリスマスに向けて公演をしてきましたが、今年はケニアの平和を祈りつつ、選挙に向けて平和のメッセージを発します。歌のレッスン、踊りのレッスンと振付を覚えること、発声練習から初めて演劇の練習と、子どもたちは勉強の合間や土曜日に集まり練習を重ねています。メッセージが伝わるように、祈りつつ準備をしています。

高校生たちは、プログラムの司会、音響、照明、衣装、メイク、バックアップコーラス、バンド、受付案内、を受け持ちます。数年前までは舞台に立っていた生徒たちです。

今年も衣装も新しくします。女子は全員、ダンス教室の内田先生からいただいたレオタードとアフリカ模様の布で作ったものの組み合わせで、ユニークな衣装になっています。

多くの人々が子どもたちを通して、キリストにある平和の心を受け留めることができるよう。スラムで暮らす子供たちが、舞台の上で、メッセージを伝える天使として用いられるようにお祈りください。

(市橋さら姉)

聖書の会へどうぞ

6月21日(水)

●朝の聖書の会(10時)

「父の御心を行う者が」

マタイ12章46〜50節

吉村和雄 牧師

●聖書の夕べ(19時)

「死別にするように命じ」

使徒12章18〜19節

黄允泥 副牧師

ミニコンサート

7月20日(木) 12時30分

「前奏曲とフーガ 変ホ長調」 他

オルガン演奏

次週礼拝

●第1礼拝(午前9時30分)

讃美歌 讃21363番

説教 「十字架を背負って」

聖書 ルカ9章18〜24節

説教者 吉村和雄 牧師

●第2礼拝(午前11時10分)

讃美歌 68番 228番

詩編 第2篇

説教 「人を救すなら」

聖書 マタイ6章9〜15節

説教者 黄允泥 副牧師



第一礼拝 (午前9時30分)

讃美歌 讃21 363番

312番

説教 「パン5つと魚2匹」

聖書 ルカ9章10～17節 (新約P121)

司式 石川一兄 聖餐司式 吉村和雄 牧師

説教者 黄允浚 副牧師

前奏曲「花はほほえみ」D.ウヰ

○ 讃美歌 21 363番

1. み神の方は 山を起こし

海原を広げ 空を造る

深い知恵により 日は輝き

月は照りわたり 星もめぐる

2. み神はめぐみで 地を満たして

造られたものを よしとされた

見よ その不思議は 大海にも

わが歩む地にも 大空にも

3. 花も木も示す 主のみ栄え

雨雲も風も 主に従う

すべてのもの皆 みむねにより

造られ守られ ここに生きる

○ 教会学校生徒による讃美

「ちいさなごに」

○ ピアノによる讃美

「あめなるよろこび」 讃美歌352番

○ 讃美歌 312番

1. いつくしみ深き 友なるイエスは

罪とが憂いを とり去りたもう

こころの嘆きを 包まず述べて

などかは下ろさぬ 負える重荷を

2. いつくしみ深き 友なるイエスは

われらの弱きを 知りて憐れむ

憐みかなしみに 沈めるときも

祈りにこたえて 慰めたまわん

3. いつくしみ深き 友なるイエスは

かわらぬ愛もて 導きたもう

世の友われらを 棄て去るときも

祈りにこたえて 芳りたまわん アーメン

第二礼拝 (午前11時10分)

讃美歌 71番 383番

詩編 第2篇 (旧約P835)

説教 「キリストの優しさと権威」

聖書 IIコリント10章1～11節 (新約P336)

司式 石川一兄

説教者 聖餐司式 吉村和雄 牧師

前奏曲「キリエ、聖霊なる父よ」J.S.バッハ

○ 讃美歌 71番

○ ピアノによる讃美

「あめなるよろこび」 讃美歌352番

○ 聖歌隊による讃美

「さまよう人々」 編：山元富雄

さまよう人々 立ち返りて

天なる御国の父を見よや

罪とが悔やめる心こそは

父よりあたうる賜物なれ

さまよう人々 立ち返りて

父なる御神の御前にゆき

真の悔いをば言い表わせ

世人は知らねど 知りたまえり

さまよう人々 立ち返りて

主イエスのみもとにとくひれふせ

我が主はあわれみ 御手を伸べて

こぼるる涙をぬぐい給わん

さまよう人々 立ち返りて

十字架の上なる イエスを見よや

血しおのしたたる 御手を伸べて

命を受けよと 招きたもう

○ 讃美歌 383番

聖餐曲「アダージョ」C.M.グールド

後奏曲「ソナタII」よりF.メンデルゾーン

聖餐曲「アレグレット」L.7カペニス

後奏曲「ソナタII」よりF.メンデルゾーン

※礼拝には、聖書、讃美歌、礼拝のしおりを毎週お持ちください。